

平成 28 年度 医療分野の「雇用の質」の向上のための研修会を開催しました。

プログラム 1

特別講演「ワーク・ライフ・バランスの実現に必要な基盤づくりを」

講師 原田 博子 氏（宇部フロンティア大学人間健康学部看護学科教授）

この特別講演では具体的な事例を交えながら、病院全体でワーク・ライフ・バランスを推進していくための豊富なヒントやアドバイスを話していただきました。

ワーク・ライフ・バランスは2階建ての2階部分であり、1階の基礎部分（①タイムマネジメント ②適正な労働時間内での業務遂行方法の見直し ③労働時間、労働者の能力を適切に勘案した業務配分、それに見合った評価制度）ができていないと2階部分の実現は困難であるとのことがありました。



プログラム 2

講演とグループワーク「医療機関におけるファシリテーション」

講師・ファシリテーター 窪田 司 氏（日本ファシリテーション協会岡山サロン
中小企業診断士）

この講演とグループワークは、参加者の皆さんが職場のワークショップや会議においてファシリテーターとなるためのスキルを学んでいただくことができるよう企画しました。

グループワーク（ワークショップ）は、特別講演の理解を深めるためテーマを「ワーク・ライフ・バランスの実現に必要な基盤づくりとは？」として、“ワールド・カフェ”形式で

実施されました。なごやかな雰囲気で行われました。

（“ワールド・カフェ”とは、カフェのようにリラックスした雰囲気の中で、小グループが席替えを繰り返しながら話し合い、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる話し合いの手法です。）



その他

参加者 82名